

争議の解決は、四十年の経緯を経て、長遠の利益を期し、一紙の市民の同情を資金に、地味な事績を積み、戦の果實を問題とす。はたして、此の果實を、罷業の経過に須く、事実にかし明かす。ある如く、国内増一有利に展開し、ウあつて有つて、内部の総業員、諸君の内、又、後、我等と趣を同するもの、世道と、其の敷を増しつゝある。

我等は遠からず、此の争議の大勝利解決を確信す。正義は最後の勝利である。

諸君が我等と同一行動をとるを得ざれば、相も事清き有り。事と我等も又案せざるべし。

然し、七、ガウ諸君は冷静に解決後、事も考へべきである。

進むべき道は明白である。

私を去り、正に就け

小異も捨て、大同せよ

ライジングサン
争議團